2025.10.26　第 57 号

西和町会会報

発行；押上西和町会
編集人；角田文善

訪れの遅かった秋を迎えて

町会長　宮本友雄

東京では最後の真夏日が九月二十九日にもなるなどして、年間の真夏日が八十七を数えました。本当に長く厳しい暑さの夏が過ぎ、漸く秋めいた日々が続く今日この頃となりました。日増しに日中と朝晩の寒暖の差が大きくなりますが、皆様には体調の管理に務められ日々健やかにお過ごし頂きます様お願い申し上げます。秋と言えば毎年台風の被害が懸念されますが、今年も早速二十二号が伊豆諸島に大きな被害をもたらし、更に同様の進路をとおり二十三号が再び伊豆諸島を直撃しました。伊豆諸島は遥か洋上とは言え東京都下、同胞都民の被災に心よりお見舞い申し上げます。

さて、九月十二日からの飛木稲荷神社・例大祭も皆様のご協力により、大変盛況、盛大に執り行われ滞りなく終了させてて頂きました。町会員各位のご尽力に対し厚く御礼申し上げます。

七月の盆踊り大会、此度の祭礼に就きましては恙無く終わらせて頂きましたが、今後年度末迄には、防災訓練・年末夜警・新年会・餅つき大会等々の行事が控えております。各行事が円滑に執り行われます様、引き続き皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

町会では、長年の懸案事項で有りました役員の高齢化や減少という状況の解消について一昨年あたりから少しづつ光明が見えて参りまして、大変有難く思ってります。

お祭りや盆踊り、餅つき大会等の運営の実働部隊であった青年部の皆さんが、四十代・五十代の所謂社会的にも「働き盛り」の年齢に達し、色々と斬新な意見を町会に寄せくれる様になりました。

実際に、今年の祭礼や盆踊の運営も若い皆さんの意見を取り入れて色々改善されております。既に町会の役員に加わって頂いた方もおられますがその数が徐々に増えて行く事を願い、私達現役役員も積極的に努力を続けて参ります。皆様にもご支援の程宜しくお願い申し上げます。

さて、これからは、猛暑ならぬ厳しい寒さと向き合って暮らして行く日々となります。コロナもまだ油断出来ない状況です。インフルエンザの流行も懸念されます。予防接種は早めに受けて、皆様にはくれぐれもご自愛下さいます様お願い申し上げます。

令和七年十月十五日

町会からのお知らせ（今後の行事）

○すみだボランティア祭り

日時　十月二十六日(日)午前十時半～午後二時
会場　押上小学校校庭

※西和町会は「綿あめ」販売コーナーにて協力致します。模擬店も多く色々なゲームもあり楽しく過ごして頂けると思います。是非遊びに来て下さい。

○押上連合四町会合同防災訓練のお知らせ

日時　十一月二日(日)　雨天決行
会場　押上小学校校庭(雨天体育館)
会館前集合　午前八時五十分　押上小学校集合　九時二十分→開始

※終了後会館にて記念品を配布致します。皆様にはご近所お誘い合せの上、多数ご参加をお願い致します。

酷暑の夏は終わった

文化厚生部長　吉田庫夫

暑い夏が過ぎやっと普通感覚で生活出来る季節になりました。年々熱くなる気候は身に応えざるを得ない事態となってまいりました。これからの町会主催の各種のイベントなどの執行については先ずはその時点での気候を優先的に考えて決めるしかないのかと思われます。先の祭礼中町会倉庫前で熱中症患者が治療を受けておりました。若い方でも簡単にかかるものなのかといささか心配な事ではありました。祭礼と言えば今年も例年通り盛大に執り行われたと思っていますがやはり暑さの影響が多少なりともあったのか人出が少な目に感じられる様な事がありました。

今年は五年に一度の国勢調査が行われた年でもありました。統計調査の基本と言われているものですが普段から馴染みの少ない事柄でしたので多少の戸惑を感じながら済ませたものでした。その内人口動静が分かり少子化に歯止めが掛からない事がハッキリするでしょう。町会での少子化にストップが掛かってくれればこんなに喜ばしい事は無いですね。ちなみに今年の敬老の日のお祝い品受領予定者は皆無でした。このような事は近年では無かった事ではなかったでしょうか。これも少子化現象の一例かもしれません。

今年も年の終盤になり大きなニュウスが入って来ました。日本初の女性宰相誕生の画期的なお知らせでした。世界の指導者らと比較した時日本の宰相の力量は世界に通用するのかと甚だ心配ではありませんか。

寒さに向かってインフルエンザ予防が大切になっております。今冬も元気で乗り切りましょう。会員皆様の自重自愛をお祈り申し上げます。